

事業計画書

－ 平成23年度 －

(第3期)

自:平成23年4月1日

至:平成24年3月31日

1. 基本方針

平成22度は、当学会第2期であり、初めて1年を通して活動した事業年度であった。会員数は、事業年度始め17名であったものが、終了時点では、87名まで増加した。また”オープンCAE”という言葉も、事業年度の始めは、本学会で使われ始めたばかりであったものが、いまでは、他学会においても広がりを見せ始めている。このことは、オープンCAEの普及への期待感の現われとも言えるものであろう。

CAE分野のオープンソースソフトウェアについては、世界的に普及が始まっている。当学会は、OpenFOAM(R)(オープンソースCFDコード)に関するディスカッションボードに参加しているメンバーから始まったものであり、主要な活動が当該ソフトウェアに関連するのは否めないが、同時に、他のオープンCAEソフトウェアについても普及を目指していく必要がある。オープンソースソフトウェアの普及は、その基盤がコミュニティであることは言うまでもない。したがって、今年度(平成23年度)は、他のオープンCAEソフトウェアについても、Web上にフォーラム(ディスカッションボード)を提供したり、あるいは講師を募集して講習会を開催するなど、積極的に取り入れていくこととする。

(注)第1期は、当学会設立の事業年度で、設立の日：平成21年度11月9日から平成22年3月31日までと短い期間であったこともあり、活動のほとんどは、具体的事業活動のための準備作業であった。

2. 事業計画概要

以下に本年度の主な活動項目を記載する。

- 1) オープンCAEワークショップ2011及び第2回定時社員総会の開催
- 2) オープンCAEシンポジウム2011の開催
- 3) 講習会の開催
- 4) 出版事業
- 5) DVD販売事業
- 6) 講師派遣事業
- 7) ホームページの移設・拡充
- 8) 会員サポート
- 9) 他学会との交流

(1) オープンCAEワークショップ2011及び第2回定時社員総会の開催

第2回定時社員総会

開催日時 平成23年6月26日(日曜日) 11:00～12:00

開催場所 東京大学 工学部1号館 15号講義室

開催要領 定時社員総会の開催要領については、定款第15条(社員総会)、第43条(事業計画及び収支予算)、第44条(事業報告及び決算)に規定されており、以下のとおりとする。

議事

- 1) 報告事項
第1号報告 『平成22年度事業報告』
- 2) 承認事項
第1号議案 『平成22年度決算報告』
第2号議案 『平成23年度事業計画案及び収支予算案』
第3号議案 『会費規定の変更』
第4号議案 『理事の定数の変更』
第5号議案 『理事の改選』
第6号議案 『平成24年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

オープンCAEワークショップ2011

開催日時 平成23年6月26日(日曜日) 13:00～17:00 懇親会 17:00～

開催場所 東京大学 工学部1号館 15号講義室

(2) オープンCAEシンポジウム2011の開催

平成23年11月ごろに開催する。開催要領については、理事会およびオープンCAE勉強会に一任する。

(3) 講習会の開催

オープンCAEに関する講習会

これまではイベントに併設の形式で、オープンCAEの普及に対する初心者向けの講習会を進めてきたが、今後は学会で販売しているユーザーズガイドを用いて、初級から中級に向けた講習会を企画してゆく。またオンラインでの受講も可能になるような準備を進める。詳細は理事会およびオープンCAE勉強会に一任する。

並列計算分科会主催の講習会

対象とする計算の大規模化や高速化はCAEにおける大きな要求の1つである。しかしこの要求はOpenFOAM(R)など既存のソフトウェアだけで達成できるとは限らず、対象とする計算の内容や利用可能な環境によってはユーザ自身が自らプログラムの改良等を行う必要がある。

そこで、CAEに活用するために必要な並列計算の知識や技術を学ぶための講習会を行う。主に、基本的な並列計算の概念と実装方法について、また近年計算科学において普及が進んでいるGPGPUについての講習会を行う。詳細は理事会および並列計算分科会に一任する。

(4) 出版事業

これまでPDFの公開および製本販売を行ってきたOpenFOAM(R) User Guideの和訳を今後も更新していくとともに、現在和訳進行中のProgrammer's Guideについても同様に公開・製本販売を行う。OpenFOAM(R)以外のソフトウェア・マニュアル等の和訳についても、学会員からの要望・意見を反映して対応を検討していく。

また、オープンCAE関連ソフトウェアの入門書、あるいは高度な応用書など、オープンCAEの普及・発展に資するような、当学会独自の出版物の制作・販売についても検討していく。

(5) DVD販売事業

現在は、DEXCS2010 for OpenFOAM(R)のDVD販売を行っているが、学会員の希望を踏まえ、要望の大きなソフトウェアについては、DVD化を進め販売を行うことを検討してしていく。

(6) 講師派遣事業

学会Webに、講師の派遣の可能なテーマや事例等を掲載し、企業等の個別講習会開催のニーズに対して、積極的に対応していく。

(7) ホームページの移設・拡充

これまで、GoogleグループにおけるOpenFOAM(R)グループのディスカッションボードを暫定的に利用してきたが、今後はOpenFOAM(R)に限定せずオープンCAE全般を対象としたフォーラムを新設する。またこれに伴って、これまでの当学会Webサイトも統合して利便性を高めるとともに、当学会が公開するソフトウェアやドキュメントを管理するためのSubversionリポジトリも整備する。このため、Wiki、フォーラム、リポジトリブラウザなどを一元管理でき、便利に連携できるTracシステムを採用し、これを管理・運営していく。

(8) 会員サポート

「OpenFOAM(R)勉強会 for beginner」等、会員の自主的運営による各種イベント等に対し、積極的にサポートする。

(9) 他学会等との交流

オープンCAEの普及を目的として、他の学会等で講演を行うなど、他学会等との交流を進める。